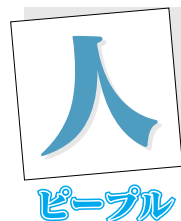


交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

苦勞が評価されうれしい



日本数学史学会「桑原賞」受賞
奥村 博さん(53)
高花台二丁目

優秀な日本数学史の研究に対して贈られる「桑原賞」に選ばれ、このほど表彰された。県和算研究会の副会長で前橋工科大学情報工学科助教授。江戸時代末に本県で活躍した和算家・中曽根宗那が残した書籍などの資料

を「和算書集成」としてまとめ、解説書付きCD・ROMで刊行したことが認められた。「五年間にわたる地道な作業が報われました。学生たちにも協力してもらい、苦勞した研究が評価されたのはうれしい。和算の資料は個人や研究機関が所有し、大切に保管されていることが多く、研究者や学生が自由に調べられず、研究の妨げになっていると感じていました」

群馬郡榛名町に住む中曽根家の子孫と和算資料の展示会で知り合ったことをきっかけに、この取り組みが進んだ。

研究成果以外に、師の著作の写本など膨大。表紙や見出しがはっきりしない物が多く、一点一点手作業で確認しながらスキャナーでコンピュータに取り込んでみます。後から新しい資料が見つかる、あまりの量の多さに、途中で投げ出したくなってしまつこともありましたね」

専門は幾何学。子どもたちから理数系の勉強が好きだった。「ひと仕事やり終え、ほっとしたというのが実感。でも、まだまだ眠っている貴重な資料も多いから、広く研究者に活用されるよう努力を続けたい」と、意欲を燃やしている。



ウォーキングで リフレッシュ

田口町・高橋保子

消費生活センターで開催したくらしのセミナー最終回は、群馬大山西教授の「ライフウォーク」生活の活性化をウォーキングで。歩くことが健康に良いと分かっているも一日六千歩、しかも二十分以上早足で

歩かないと脂肪が燃焼しないなどという情報に惑わされて、三日と続いたことがありませんでした。

セミナーでは、心地良く歩くことに重点を置き、いすに座つてできるストレッチや腕を大きく振り、歩幅を広くしたウォーキングの実習など、先生の元氣な声に励まされ、久しぶりに気持ち良い汗をかきました。また歩くことで脳が活性化し、頭が良くなることも知りました。これを機に、外へ出て自然と対話しながら、五感をよみがえらせ、生き生きとウォーキングを楽しんでいきたいと思っています。

まちのニュース



堀之下町

夏の楽しみ 納涼祭



七月二十七日、堀之下町・正円寺広場で納涼祭が開かれました。今年で二十一回目。子どもたちが山車を引いて町内を練り歩き、祭りを盛り上げます。また、八木節やだんべえ踊り、クイズ大会など多彩な催しで会場は大にぎわい。七十歳以上の人には特別席も用意され、踊りに合わせて手拍子したり、カラオケを歌ったりと楽しいひとときを過ごしました。

金井忍自治会長は、「小さい町だけど、みんなの協力で今年も盛大な祭りになることができました。子どもたちにとって、夏休みの良い思い出になれば」と話していました。